

事業番号	15 06 01	事業改善シート（令和2年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	生徒指導推進事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	心の支援課	
		実施期間	S58 ~	E-mail	kokoro@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）						
8つの重点目標						
総合的に展開する重点政策	1-2 地域とともに取り組む楽しい学校づくり	5-1 多様性を尊重する共生社会づくり				
	4-4 生命・生活リスクの軽減	5-5 子ども・若者が夢を持てる社会づくり				

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> ○不登校児童生徒在籍比は依然高い。 ⇒H30不登校児童生徒の在籍比 小学校(県)0.95%(国)0.70% 中学校(県)3.84%(国)3.65% 高校(県)1.15%(国)1.63% ○いじめは「被害性」に着目、「けんか・ふざけ合い」も集計 認知件数(H29)5,329件→(H30)9,206件、1,000人当たりのいじめの認知件数 H30(県)40.0件 (国)40.9件 ○未成年者の自殺死亡率10万人あたり4.78人 全国ワースト1位(H30) ○多様化する児童生徒等の悩みについて、相談支援体制の充実を図ることが必要。 ○学校生活相談センター H29:1,021回、H30:1,326回 R1:1月末現在1,399回の相談に対応。 ○長期休業前後をⅠ～Ⅲ期に分け80日間開設したLINE相談窓口は、425件の相談に対応。 ○インターネット・スマホ等利用に起因する性被害・加害の防止等、新たな課題への指導の充実が必要。 	令和2年度補正後額	361,650千円
	<ul style="list-style-type: none"> ○学校生活相談センター H29:1,021回、H30:1,326回 R1:1月末現在1,399回の相談に対応。 ○インターネット・スマホ等利用に起因する性被害・加害の防止等、新たな課題への指導の充実が必要。 	職員数	12.60人
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ○不登校、いじめなどの未然防止、早期発見、早期対応のための支援体制の充実のため、相談専門家の配置人数の増、資質向上を図る。 ○いじめや不登校など児童生徒及び保護者の悩みについて、安心して相談できる体制を充実させ、改善を図る。 ○すべての子どもにとって魅力ある学校となるよう学校環境の改善を図る。 ○子どもの自殺をゼロにする。 ○学校と学校以外の学びの場との連携体制等を構築する。 ○「性被害防止に関する指導・情報モラル教育」により、子どもたちの「危険を察知し回避する力」を育成し、被害防止を図る。 <p>(主な実施内容:スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、電話・LINE相談、「性被害防止教育キャラバン隊」の実施など)</p>		

事業	区分(単位:千円)	R元年度	2年度	2補正後	指標及びその達成状況						
					No	成果指標	30年度末	元年度末(見込)	令和2年度		
									目標値	成果	達成状況
コスト	前年度繰越										
	当初予算	339,115	362,114	362,114							
	補正予算	6,205		-464							
	合計(A)	345,320	362,114	361,650							
	Aの財源	一般財源	226,194	238,503	238,039						
		県債	0	0	0						
		国庫支出金	111,435	120,953	120,953						
		その他	7,691	2,658	2,658						
	決算額(B)	334,712									
	概算人件費	職員数(人)	13	13	13						
概算人件費(C)		102,085	102,085	103,547							
概算事業費(B(A)+C)	447,405	464,199	465,197								
成果指標設定理由	①② いじめ、不登校、暴力行為などの背景にある家庭的な問題に対して、社会福祉や精神保健福祉の専門家であるSSWが介入し総合的な支援をすることにより、児童生徒を取り巻く環境等の改善を目指すため、成果目標に設定。										

補正により取り組む事業内容	新型コロナウイルス感染症に伴う事業執行の見直しによる減額
---------------	------------------------------

2 事業を構成する細事業の内容

(単位:千円)

No	細事業名	令和2年度 実施内容(予定)	職員数(人)	令和2年度		
				(補正前)	(9月補正)	(補正後)
1	生徒指導推進事業費	生徒指導の充実を図り、人間性豊かな児童生徒の健全育成を目指すため、スクールカウンセラー事業、スクールソーシャルワーカー活用事業、子どもと親の相談員配置事業、いじめ・不登校地域支援事業などを実施。	9.00	343,048	-186	342,862
2	学校生活相談体制充実事業費	児童生徒の様々な悩みの相談に応じるため、学校生活相談センターにおける電話相談事業及びLINEを活用した相談事業を実施。	3.50	17,442		17,442
3	性被害防止に向けた指導充実事業費	インターネットを介した性被害の防止を図るため、「子どもの性被害防止教育キャラバン隊」を学校派遣するほか、指導者研修会等を実施。	0.10	1,624	-278	1,346
	合計		12.60	362,114	-464	361,650

事業改善シート附表

事業番号	事業名	生徒指導推進事業費				部局	教育委員会事務局		課・室	心の支援課			備考 (R元事業番号)
		実施方法	令和2年度 実施内容	令和2年度 実施内容(実績)	2年度 実施状況		30年度 当初(千円)	元年度 当初(千円)		令和2年度 要求(千円)	令和2年度 当初(千円)	令和2年度 補正(千円)	
15 06 01													□当初要求 □当初予算案 ■補正予算案 □点検
1	生徒指導推進事業費	子どもと親の相談員配置事業	直接	不登校等の未然防止及び早期発見・早期対応のため、相談員を小学校への配置(30人)。			27,674	27,674	27,674	27,674			150601
1	生徒指導推進事業費	いじめ・不登校等総合対策事業	直接	生徒指導上の課題の解決に向け、学校・教育委員会が的確に対応するための専門的な支援と助言を行います。また、すべての子どもたちが安心して学べる学校づくりを推進するとともに、不登校児童生徒の社会的自立に向けた進路選択を支援するための新たな仕組みをつくりまします。 ・生徒指導課題に対応する学校支援チーム ・いじめ問題対策連絡協議会 ・高校生インターネット適正利用推進事業 ・科学的知見に基づく学校環境調査及び予防的取組 ・不登校児童生徒の社会的自立に向けた仕組みづくり			2,511	2,289	11,771	3,228			150601
1	生徒指導推進事業費	子どもの自殺対策推進事業	直接	生徒のコミュニケーション力の向上と人間関係づくりを支援するとともに、教員が生徒の自殺のサインを早期に発見し、適切に対応するための研修を行う。 ・自殺予防に関する教員研修会 ・SST等活用事業 ・アセス(学校環境適応感尺度)活用事業 ・自殺予防及びいじめ、虐待、性暴力等から、子どもが自ら身を守るためのワークショップ			1,448	1,448	10,677	10,039			150601
1	生徒指導推進事業費	生徒健全育成事業	直接	生徒指導上の課題についてデータの収集及び管理を行うため、生徒指導補助員(1人)を配置。			3,630	3,693	3,491	3,491			150601
1	生徒指導推進事業費	家庭との連携促進事業	直接	問題行動を起こした児童生徒の反省、立ち直り指導を充実し、学校と家庭の緊密な連携を促進するため、家庭訪問や校外補導を行う。			4,826	4,764	4,629	4,316			150601
1	生徒指導推進事業費	スクールカウンセラー事業	直接	児童生徒の不安や悩みを早期に発見し、適切かつ迅速に対応するため、スクールカウンセラー(105人)の配置及び派遣を行う。 ・小・中・高・特別支援学校へのSCの配置及び派遣 ・長期欠席している児童生徒への訪問支援 ・緊急対応のSC派遣 ・台風19号の被災児童生徒等の支援			170,598	170,952	191,416	186,865			150601
1	生徒指導推進事業費	スクールソーシャルワーカー活用事業	直接	児童生徒の問題の背景にある家庭的な問題を早期に発見し、総合的な支援をするため、スクールソーシャルワーカー(35人)の配置及び派遣を行う。			79,049	93,728	95,758	94,365			150601
1	生徒指導推進事業費	いじめ・不登校地域支援事業	直接	学校が抱えている問題の相談に対し、SSWやSCと連携して、困難を抱える児童生徒の早期発見、早期支援を行うため、いじめ・不登校相談員(4人)を配置。			13,681	13,270	13,070	13,070	-186		150601
1	生徒指導推進事業費	学校事故被害者等支援事業	直接	児童生徒の死亡・重傷事故が発生した際、関係者を支援するため、専門家等を派遣する。			52	0	0	0			150601
2	学校生活相談体制充実事業費	学校生活相談センターの電話相談事業	直接	いじめや不登校など学校生活における児童生徒の様々な悩みについて相談窓口を設置。 ・24時間対応 ・臨床心理士(1人)配置 ・電話相談、メール及び来所相談に対応 ・PRチラシの作成、全学校へ配付			4,541	4,533	4,822	4,822			150601
2	学校生活相談体制充実事業費	学校生活相談センターの電話相談事業	委託	夜間、休日の電話相談を受けるため業務を委託する。			4,320	4,360	4,620	4,620			150601
2	学校生活相談体制充実事業費	SNSを活用した相談体制構築事業	委託	いじめや不登校などに起因する自殺防止に向け、長期休業の前後等に「LINE相談窓口」を設置。			0	10,000	8,000	8,000			150601
3	性被害防止に向けた指導充実事業費	「子どもの性被害防止教育キャラバン隊」の設置・派遣	直接	インターネットを介した性被害の防止を図るため、 ・「子どもの性被害防止教育キャラバン隊」による「性被害防止に関する指導」及び「情報モラル教育」を実施。 ・性被害防止に関するリーフレットの作成、配布。 ・教職員対象の指導方法等研修会の実施。			2,524	2,404	2,084	1,624	-278		150601
合 計							314,854	339,115	378,012	362,114	-464	0	